

# 大報

住民登録  
3月1日現在

前月比  
人口 76,343(-144)  
(男 36,584)  
(女 39,759)  
世帯数 20,057(-27)

# あおだて

4月号 (No. 189)

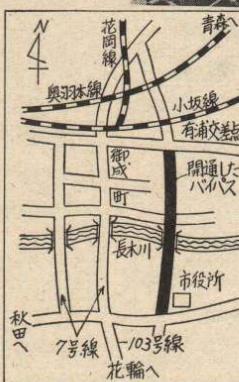
編集と発行 — 大館市役所  
(電話) 2-1212  
発行年月日 — 昭和48年4月1日  
発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課庶務係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可(1部5円)

市役所 ↔ 有浦

=大館バイパス開通=



<バイパスの概要>  
市役所 → 有浦

<総工費> 6億5,000万円  
<延長> 1,414m  
<道巾> 車道 6.5m  
歩道 1.5~2.0m

国道7号線の大館バイパスが完成し、さる3月8日、有浦交差点付近で開通式が行なわれました。大館市主催によるこの開通式には、井上東北地方建設局長、市そして工事関係者など150人が参列、多数の市民が見守る中で神事について市長など6人でテープを切ったあと、参列者全員で市役所前まで通りぞめし、完成を祝いました。

7号線の大館バイパスは、市街地の交通渋滞の解消をはかるため計画されていたもので、すでに有浦、秋田内間は第1期工事として44年度に開通しています。今度の有浦、市役所間のバイパスは、本市が「建設省直営」で実施するよう強く要望していたもので、結局、この要望がみとめられ全国でもめざらしいとされている「市街地を走るバイパス」が4年ぶりで開通したわけで、開通とともに利用する車が多く、市街各路線の交通緩和に大きな役割をはたしています。

<高層ビル火災に備え>

## 屈折ハシゴ車を購入

市が47年度予算で発注していた屈折ハシゴ付消防自動車(1,696万円)が2月28日に到着しました。

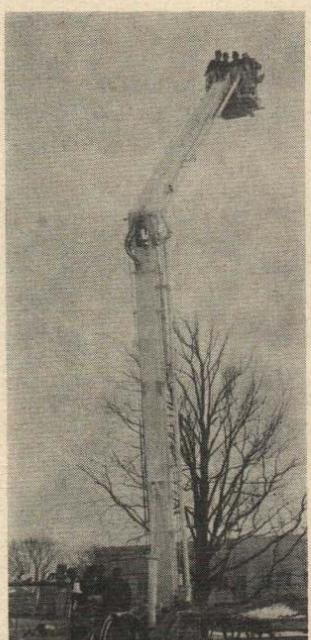
消防署では到着と同時にハシゴ車の取り扱いの訓練を重ねていたところ、1週間足らずで操作を修得し、その訓練の結果とハシゴ車の威力を消防記念日(3月7日)に庁舎前で披露しました。

大館市でハシゴ車を購入したのは今度がはじめてのことであり、ハシゴ車の形の様子をみていた市民は、その巨大なボディと速やかに上空にのびていくハシゴを驚きのまなざしで見つめています。

購入した屈折ハシゴ車は、旋回、屈折自由の2段式塔と称し、車の全長が9.10mで、総重量にして13トンのいわゆるジャンボ消防自動車です。

屈折ハシゴの先端(作業台)は地上から16mに到達(最大超立角度80度)するほか、上塔は下塔に対して135度の範囲で旋回でき、4階建てのビルディングの火災の消火は十分可能です。

また、作業台の昇降操作はインターホーンスピーカーを使用して両方でできるようになっております。とくに、作業台が電線に近づいた場合、それを警報する「感電警報装置」もついており、この屈折ハシゴ車はその消火性能はもとより、作業員の安全対策面からいっても、すぐれた消防自動車であるといわれています。



昭和41年3月22日指定

秋田県指定重要文化財

<所在地> 大館市曲田80

<所有地> 盛岡市上田町

日本ハリストス正教会教団

盛岡教区北鹿ハリストス正教会

<管理者> 大館市中山字中山92

佐々木純一氏



## 北鹿ハリストス正教聖堂

曲田のつり橋のたもとに立つ、部落の家並みの間から、教会の赤い屋根と白の十字架が見えます。これが明治25年7月31日、当時熱心なハリストスの信者であった曲田部落の畠山市之助氏が私財を投じて建てた聖堂です。

聖堂は、東京神田のニコライ堂を模してつくられたビザンチ風の木造建築でハリストス正教の聖堂としては、全国でも最古のものといわれています。

建物の外観はきわめて素朴ではあるが内部はみるべきものがあります。すなはち、聖所の四方はアート型につくり、中央は八角ドームで、この天井からシャンデリアが吊り下げられているなど、明治時代の擬洋風建築としても文化史的価値が高いとされています。

信者は、北鹿地方に14~15軒ほどにすぎませんが、ひところは曲田部落だけで数10軒もあった信者が戦争を境に激減し、いまでは曲田部落には2軒しかいない。このように、信者の減少と散在により、曲田聖堂に信者が集会するのには4月の復活祭、お盆ごろの巡回礼拝とクリスマスの3回ですが、この日は、讃美歌と敬けんな祈りの中で「聖体礼儀」(ギリシャ正教ではミサ)がおこそかに行なわれています。

- ◆市史編さんの事業を引き続き推進
- ◆市税完納者への報償（3年5年、10年）を制度化
- ◆盲人にテープによる広報活動の実施
- ◆高令者祝金の年令を80才に
- ◆老人福祉電話の新設
- ◆70才以上の老人医療費を無料化
- ◆心身障害家庭奉仕員を新設
- ◆助産施設入所者への医療扶助給付を実施
- ◆0才児の医療費無料に
- ◆商工会議所に設置する経営指導員、記帳指導員の経費を助成
- ◆中小企業の金融予託金を4,400万円に増額
- ◆1万本桜植樹の実施
- ◆観光パンフレットを作成
- ◆広域市町村圏組合で常備消防事務を行なう
- ◆火災予防組合の強化
- ◆大館私学連合会への助成
- ◆社会教育指導員の新設

### 主な施策

- ◆スポーツ主事を新設し、スポーツの振興をはかる
- ◆奨学資金貸付けの範囲を全市に拡大
- ◆15路線の市道を舗装
- ◆公園の新設
- ◆下水道事業の推進
- ◆市営住宅16戸を建設
- ◆桂城小学校新築第3期工事をすすめる
- ◆有浦小学校にプールを建設
- ◆城南小学校に給食室を建設
- ◆十二所公民館の新築
- ◆農業構造改善事業（真中地区）をすすめる
- ◆農道の整備を行なう（二井田橋架設・沼館道路舗装）
- ◆市民の森造成事業を今年度で完成させる
- ◆商工会館建設に補助
- ◆広域消防の庁舎を新築
- ◆過年度発生の土木、農業施設の復興事業を行なう
- ◆食肉センターの建設

### 市政の現況

市長 石川 芳男

一般市政における重要課題について、ご報告申しあげたいと思います。

まず、一昨年以来、地域の将来に最も大きな影響をもつ問題として、盛岡以北の東北新幹線を秋田・津軽ルートに誘致しこの工事を促進させたいとの目的をもって期成同盟会を結成、議会を始め各方面のご理解あるご協力を得て、強力な運動を展開しておりますが、今年こそは、いよいよ最終的結論であるルート決定を見ることになると思います。

皆さんと共に有終の美を飾るために最後の努力を傾注して参りたいと思います。つぎに、先ごろ行なわれた議会全員協議会においてご報告いたしました大館周

#### 各種会計当初予算額

(単位:千円)

合計名		48年度
一般		3,382,980
特	国民健康保険	643,864
	矢立診療所	6,055
	温泉開発	4,745
	簡易水道事業	22,635
	農業共済事業	9,481
	公設総合地方卸売市場	47,133
	食肉センター	113,874
	奨学生資本金	4,169
	土地取得	6
別	上川沿	2,998
	下川沿	432
	片山	4,789
	川口	57
	餅田	6,470
企	病院事業	1,237,369
	水道事業	171,635
	合計	5,658,692



界が推移していることは、皆さんご承知の通りです。

私たちとしては、これが地域経済にどのような影響をもたらすか、また、これに対処していくには、どうしたらよいかを十分は握しなければならない大きな問題であろうと思います。

特に当市としては、市税収入に大きな「ウエート」を占める税財源は、鉱山事業による率が大きいだけに、重大な関心を払わざるを得ないばかりでなく、企業合理化による人員整理などを考えますと、それが市勢の消長に及ぼす影響は計り知れないものがあります。

私は関係者とも十分話し合いの機会を持って、これに対処して参りたいと思っています。

### 健やかな人 緑のまち

# づくりをす

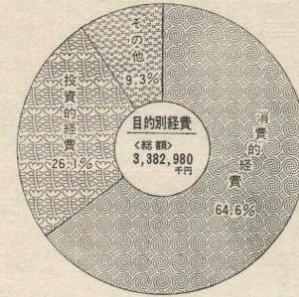
3月10日にはじまった本市の3月定期市議会では、専決処分の承認2件、総額56億8,869万2,000円におよぶ新年度の一般会計と特別会計の予算など60件の議案を審議し、3月20日いずれも原案どおり可決して10日間にわたった日程を終えました。今度の市議会で決った中で、今年度のまちづくりにはどんな施策が繰り込まれているかななどを、一般会計を中心にお伝えし、市民の皆さんのご理解と市政発展に対するご協力を得たいと思います。

### 具体的な施策

総務費	単位 1千円	
盲人広報用テープコーダー購入	40	の取りつけ工事に
電子計算機購入(継続分)	5,219	ごみ燃却場の修理に
庁舎別棟にトイレ新築	600	ごみ収集の委託料として
カーブミラー設置(13カ所)	544	カ・ハエ防除の薬購入に
ガードレール設置(松原)	83	
市道のセンターライン引き工事(2.0km)	3,400	
街灯新設(100灯)	680	
鳥飼会館にブロック壁へ築造	1,200	
住居表示実施(餅田地域など)	総額 1,430	
市史編さんの仕事に	総額 4,136	
納期前納付の報償金、などの報償費に	総額 3,214	

### 農業費

大規模共同育苗、高度圃園近代化、ホップ栽培、葉たばこ、稻作生産圃園、苗代共同防除などの補助に 12,741  
第2次構造改善事業(真中) 24,047  
畜産圃地造成費(真中)の補助 3,427



### 民生費

高令者(80才以上)への祝金 1,545  
身障者家庭奉仕員の設置など、身障者の福祉向上に 総額 6,628  
精神薄弱者のため 総額 14,654  
老人福祉電話の新設など、老人の福祉向上のために 総額 90,165  
児童遊園地に遊具購入 600  
へき地保育所設置に 1,109  
母子寮、乳児保育園に入所する児童のための負担に 28,016  
助産施設入所者への医療扶助に 1,260  
児童手当の扶助などに総額 37,564  
生活保護費に 総額 429,804  
市民体育館に倉庫新築 3,000  
市立病院、看護学院への負担金として 134,500  
国保、矢立診療所会計への繰出金 1,1436  
予防接種の薬購入など 総額 7,173  
0才児の医療費の補助に 13,470  
母子に牛乳を支給するために 1,494  
岡の家のキャンプ場炊事場、遊園防護柵

は場整備事業の補助(石淵) 6,006  
農道整備事業の補助(石淵) 3,080  
農機具購入の補助(大明神、赤沢) 1,810  
農道整備事業として二井田橋架設に 21,095  
"沼館道路の舗装に 11,189  
集団転作促進補助に 1,900  
出稼者の健康診断実施に 77  
「市民の森」の駐車場整地、休けい展望台設置、管理事務所新築工事、街路灯設置小川造成、遊具設置などに 5,250

### 商工業費

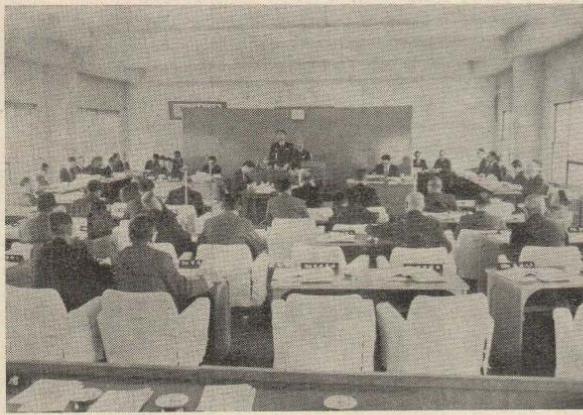
貸付機械の購入に 6,000

### 昭和48年度大館市一般会計予算

(歳入)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	款
1. 市税	1,107,271円	952,844円	154,427円	1. 議会費
2. 地方譲与税	25,255	16,362	8,893	2. 総務費
3. 自動車取得税交付金	31,655	25,326	6,329	3. 民生費
4. 地方交付税	1,059,194	910,040	149,154	4. 衛生費
5. 交通安全対策特別交付金	8,987	2,651	6,336	5. 労働費
6. 分担金及び負担金	26,669	23,056	3,613	6. 農林水産業費
7. 使用料及び手数料	51,363	52,548	△ 1,185	7. 商工业費
8. 国庫支出金	711,860	537,232	174,628	8. 土木費
9. 県支出金	148,757	177,707	△ 28,950	9. 消防費
10. 財産収入	21,676	68,050	△ 46,374	10. 教育費
11. 寄附金	2,642	6,040	△ 3,398	11. 災害復旧費
12. 繰入金	9,485	4,945	4,540	12. 公債費
13. 繰越金	1	1	0	13. 諸支出金
14. 諸収入	59,465	57,424	2,041	14. 予備費
15. 市債	118,700	220,800	△ 102,100	
歳入合計	3,382,980	3,055,026	327,954	歳出合計

# すめる今年の予算



大館商工会議所、花矢商工会の補助に

1,917

大館商工会館の建設補助に 1,000,000

中小企業育成資金の貸付に 40,000

御成町災害復興の貸付に 4,000

大館・大滝観光協会などの補助 2,598

観光施設等の整備基金に 4,050

観光パンフレットの発行に 1,000

1万本桜の苗木購入、植樹事業に

総額 6,068

**土木費**

市道各路線の補修費として 22,000

砂利などの購入に 10,000

市道の舗装と改良工事に 10,2,485

&lt;舗装&gt;深沢1号、餅田→土貝、

御成町2丁目内の4線

谷地町南町、柄沢、長里、山館、

立花、花岡公民館、川古町

労働会館前(214号)、東台

ヤクルド(89号)の15線

&lt;改良&gt;山館児童館線、小沢迎内、

板石石、柏田、松原、小坪川原、

只越、赤石沢踏切の8線

道路改良のための用地購入 11,457

曲田橋(つり橋)の解体に 800

街灯切り替えのため(250灯)

1,450

街灯の電灯料金代として 3,000

御成・中道児童公園新設、長根山運動公園の用地購入などに 総額 73,000

墓地公園の地質調査などに総額

4,941

舟場下水道事業に 総額 36,200

大館火災復興事業の換地委託料など

総額 8,953

**総括表**

出)

本年度予算額	前年度予算額	比較
71,461円	65,271円	6,190円
449,006	390,547	58,459
743,317	510,620	232,697
280,687	233,626	47,061
48,684	45,717	2,967
175,069	235,084	△ 60,015
99,212	83,208	16,004
383,406	523,765	△ 140,359
185,649	106,384	79,265
527,722	552,996	△ 25,274
98,242	18,069	80,173
250,319	238,158	12,161
55,643	36,021	19,622
14,563	15,560	△ 997
3,382,980	3,055,026	327,954

**災害復旧費**過年度発生の農業災害の復興に  
(小瀧沢地区水路など36カ所)

総額 91,931

過年度発生の林業災害の復興に  
(平内沢林道など5カ所)

2,953

**諸支出金**

市有林の下刈、新植などの造成事業に

総額 6,653

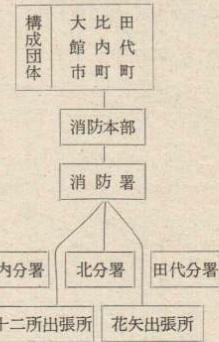
公営企業の助成のため総額 49,281

**食肉センター特別会計**食肉センター建設事業費として  
(川口地内) 総額 110,489

昭和47年7月、本市と比内町、田代町の一市2町で、関係住民の日常社会生活圈を一本化した行政をすめようということから、広域市町村圏の設定を受け将来のビジョン策定などの事務を行なっています。

広域市町村圏が最初に取り組んだのは広域行政機構による常備消防体制の構想を明らかにすることでしたが、この計画案も順調にすみます。本市はじめ比内、田代の議会の了承も得られたため、4月1日から待望の広域消防が発足することになります。

これまで、本市と比内町、田代町との間では相互応援協定のもとに有事に対処してきましたが、今度の広域消防の発足は圏域内の防災、救急体制を組織的に確立したもので、防災活動の広域化の面からみても、一市2町にとっては画期的なできごとといえます。

**広域消防組織****◆消防本部は根下戸地内に**

広域常備消防の実施により正式な名称は「大館周辺広域市町村圏組合消防本部(署)」となり、消防本部は根下戸地内に新築されるほか、比内町扇田と田代町早口には分署が新築されます。

また、秋田内板子石にある北分遣所は北分署とし、花岡と十二所にはそれぞれ出張所が設置されます。

**消防署員は91人**

広域消防の発足によって消防署の職員は、広域市町村圏組合の職員になります。消防署の職員は、広域消防発足前の署員(比内と田代には署員の配置はない)より26人増やし、91人にする予定です。

署員の配置計画は、消防本部(署)に51人、比内分署12人、田代分署12人、北分署10人、十二所出張所4人、花矢出張所2人になる見込みです。

**◆事業費は約****2億5,400万円**

本部庁舎はじめ比内、田代分署はいざれも筋コンクリート2階建てで、この建築費の総額は約1億400万円。それに消防施設の整備費約1,100万円、経常経費の約1億3,700万円を含めると2億5,400万円にもおびります。

**◆消防機械の規模**

常備消防の機械力は、はしご車1台、水そう付消防自動車3台、普通ポンプ自動車5台、救急車と広報車各1台となり比内分署と田代分署には新しい消防自動車を1台ずつ配置してスタートします。

また、消防専用の無線電話は、固定局2、移動局が10局の規模になります。

**機構改革**

課および室設置条例が9年ぶりに一部改正されました。今年の改正等は行政需要の増大と社会情勢の変化に伴って新しい仕事が増えているため、課の新設や名称の変更を行ない、行政事務の能率をはかろうとしたもので、4月1日から実施されます。

**<新しい課>**

職員課(人事、職員団体の仕事)

土木課(土木、失業対策の仕事)

都市開発課(都市計画)

公園、下水道、建築、市営住宅の仕事)

事)

**<名称が変わった課>**

商工課→商工観光課

徴収課→収納課

公害課→環境保護課

収入役室→出納室

**災害見舞金の額引き上げ**

住宅が全焼した場合などに市が見舞金を出していますが、この見舞金の額が全焼、全壊の場合は平均2,880円、半焼半壊の場合は平均1,210円。それぞれ引き上げされ、4月1日から実施されます。

**<改正額>****▼住宅の全焼、全壊、流失の場合**

(4月~9月) (10月~3月)

1人世帯	2,000円	3,000円
2人 "	2,700	4,100
3人 "	4,100	5,800
4人 "	5,000	6,900
5人 "	6,400	8,700
6人以上1人	800	1,100
増すごとに		

**▼半焼、半壊、床上浸水の場合**

(4月~9月) (10月~3月)

1人世帯	2,000円	3,000円
2人 "	2,700	4,100
3人 "	4,100	5,800
4人 "	5,000	6,900
5人 "	6,400	8,700
6人以上1人	800	1,100
増すごとに		

**奨学資金は月額1万円に**

旧花矢町地域に居住していた大学生だけに貸しきっていた育英資金(4月1日から)は奨学資金に名称変更( )は、4月からは全市に拡大されます。

奨学資金を借りられる方は、正規の修業年限が4年または6年の大学に入学している方で、貸しき付け額は月1万円(今まででは2,500円)になります。

**社会体育係の事務は****市民体育館で**

このたびの市役所機構改革にともない市民の皆さんへの便宜をはかり率をあげるために、市教育委員会社会体育係の事務をすべて市民体育館内に集中し執務することになりました。

したがって、市民の体育、スポーツ、レクリエーションに関する事務は市民体育館内、社会体育係(電話②0310)で事務が行なわれます。

**<主な仕事>**

- ①スポーツ振興審議委員会
- ②体育指導委員会
- ③市体育協会
- ④スポーツ少年団
- ⑤スポーツ教室
- ⑥武道館
- ⑦市民プール
- ⑧市営球場
- ⑨有浦スポーツ館
- ⑩その他市民の体育行事などに関することなどを扱っています。

